産研シンポジウム：「グローバリゼーションと東日本大震災にゆれる茨城県北部地域」

産業研究所のプロジェクト「東日本大震災以降の地域産業の現状と復興への課題」は、首都圏周辺に位置し、かつ日本の工業、農業、及びエネルギー供給において重要な位置を占める茨城県北部地域を事例に、グローバリゼーションと東日本大震災が地域経済に及ぼした影響と、大企業、中小企業、地方自治体の発展戦略を実証的に解明しようとするものである。今回のシンポジウムは、プロジェクト3年間の研究成果の総括である。

日時：２０１７年1月30日　12：50-16：00

場所：　太平館401教室

司会：渥美剛

参加：自由

タイムスケジュール

12：50　開会挨拶・プロジェクト趣旨説明　渥美剛

13：00　第1部　「日立製作所のリストラをめぐって」

第１報告　馬場豊彦氏（元日立製作所大甕工場社員）
　　　「日立製作所のリストラの現状について」

13：50　第2報告　藤田実
　　　「日立製作所のリストラと地域経済」

14：10　第1部総括討論

14：30　休憩

14：40　第2部

　　　　第3報告　藤川まなみ「茨城県北部地域の人口の将来推計と公共交通の維持―ひたちなか海浜鉄道を事例に」

15：00　第4報告　渥美剛「原子力レジームの形成と動揺―茨城県東海村を事例にー」

15：20　第5報告　片山博文　「日本の農産物輸出戦略と茨城県の対応」

15：40　第2部総括討論

16：00　閉会挨拶　任 雲